

令和7年4月22日

報道機関各位

世界長寿サミット実行委員会

コスタリカ共和国外務大臣及び貿易大臣との ミーティングについて

～第1回世界長寿サミットへのコスタリカ共和国の
参加及び参加へ向けた両大臣とのミーティング～

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、世界長寿サミット実行委員会においては、百寿者の割合が全国平均の約3倍である京丹後市をはじめとする丹後地域において「幸福で健康な長寿社会」を目指して、日本抗加齢医学会とも連携し、今年6月に「第1回世界長寿サミット」を開催します。

現在、コスタリカ共和国に本サミットへの参加・協力要請※₁を進めているところですが、この度、それに先立ち、世界で長寿地域を持つ国の一つであり、地球幸福度指数においてランキング1位にも輝いたことのあるコスタリカ共和国の外務大臣及び貿易大臣らを招きミーティング※₂を実施します。

つきましては、報道機関の皆様取材を行っていただきたいと考えておりますので、大変お忙しいこととは存じますが、ご出席賜りますようお願い申し上げます。

※1 コスタリカ共和国の他、アメリカ、イタリア、ギリシャにも参加・協力を要請しています。

※2 その後にディナーミーティングを実施します。

記

【ディナーミーティング】

(1) 日 時 令和7年4月25日（金） 19時00分～

※取材可能時間 19時00分～19時20分

(2) 会 場 ホテルオークラ京都 6階 京料理 入舟

(3) 出席者

所 属	役 職	氏 名
コスタリカ共和国	外務大臣	アルノルド・アンドレ・ティノコ
	貿易大臣	マヌエル・トバル・リベラ
	外務省外交政策局長／大使	ジーナ・ギジェン・グリージョ
	次期駐日大使	スッシ・ヒメネス・ヌニェス
	公使参事官・総領事	ウィリアム・カルボ
世界長寿サミット 実行委員会	実行委員長	夜久 均（京都府立医科大学 学長）
	副実行委員長	中山 泰（京丹後市長）

- (4) 当日の流れ
- ・第1回世界長寿サミットの概要説明
 - ・今後の交流について
 - ・写真撮影

- (5) その他 取材を希望される方は4月24日（木）17：00までに
商工振興課：岡崎までご連絡ください。

【問い合わせ先】

（世界長寿サミットの内容に関する問い合わせ）

世界長寿サミット実行委員会運営事務局（担当：重国）電話 06-4798-2078

（取材案内に関する問い合わせ）

京丹後市 商工観光部 商工振興課（担当：岡崎）電話 0772-69-0440

参考

世界長寿サミット概要

2025年6月16日（月）から19日（木）の4日間、京丹後市で実施され、国内外から老化について研究する学者や専門家などが200名程度参加される予定です。内容としては、海外から招聘した方や国内の研究者から、食や細胞、循環器などさまざまな観点から講演を行う予定の他、市民が無料で参加できる公開講座や、大阪観光局を中心に集まった自治体で構成される「健康・美・長寿推進協議会」のシンポジウムなどもサミット開催期間中に実施することが検討されています。

※2025年1月31日に本市において世界長寿サミット開催に係る記者会見済（別紙資料参照）

2025年1月31日

第1回世界長寿サミット

記者会見 説明資料

京丹後長寿コホート研究

<目的> 長寿、特に健康長寿の背景因子を明らかにすること。

<意義> 京丹後市は元気なお年寄りが多く、**人口当たりの100歳以上の人口比率が全国平均の約3倍であり**、この研究で健康長寿の医学的メカニズムが明らかとなる事で、将来の医療の進歩に大きく貢献できるものと期待しております。

2017年8月7日 読売新聞 夕刊一面



	人口	百寿者	百寿者/10万
与謝野町	19777	33	166.9
伊根町	1914	5	261.2
宮津市	16325	28	171.5
京丹後市	51031	114	223.4
京丹後地域	89047	180	202.1
京都市	1379529	1121	81.3
全国	124885175	91508	73.3



百寿者数(10万人あたり)の比較 [住民基本台帳(2024/1/1現在)から]

<http://www.f.kpu-m.ac.jp/k/longlife/>

Gut microbiota differences in elderly subjects between rural city Kyotango and urban city Kyoto: an age-gender-matched study

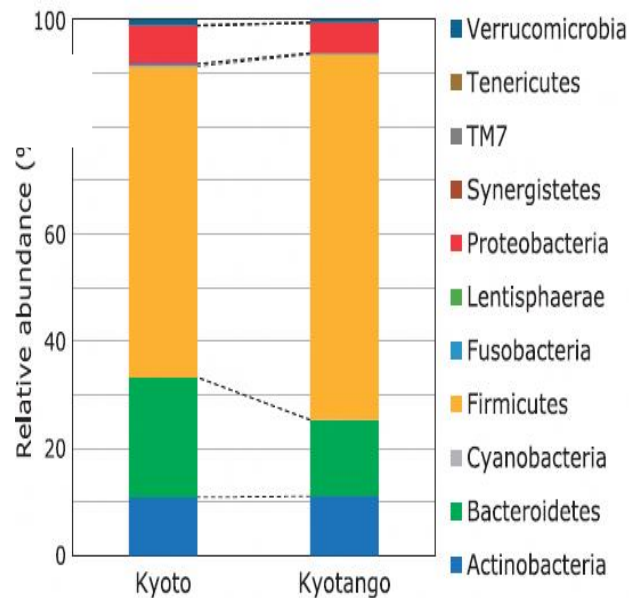
Yuji Naito,^{1,2,*} Tomohisa Takagi,^{1,3} Ryo Inoue,⁴ Saori Kashiwagi,¹ Katsura Mizushima,¹ Saeko Tsuchiya,¹ Yoshito Itoh,¹ Kayo Okuda,⁵ Yoshimasa Tsujimoto,⁵ Atsuo Adachi,⁶ Naoki Maruyama,⁶ Yohei Oda⁷ and Satoaki Matoba^{6,8}

¹Molecular Gastroenterology and Hepatology, ²Department for Medical Innovation and Translational Medical Science, ³Department of Longevity and Regional Epidemiology, ⁴Department of Cardiovascular Medicine, Graduate School of Medical Science and ⁵Department of Endoscopy and Ultrasound Medicine, University Hospital, Kyoto Prefectural University of Medicine, 465 Kajicho, Kamigyo-ku, Kyoto 602-8566, Japan

⁶Laboratory of Animal Science, Kyoto Prefectural University, Kyoto 606-8522, Japan

⁷Takara Bio Inc., Nojihigashi 7-4-38, Kusatsu, Shiga 525-0058, Japan

バクテロイデス門が少ない京丹後では、京都市内に比較して胃癌罹患に差はないが、大腸癌罹患率が低い。



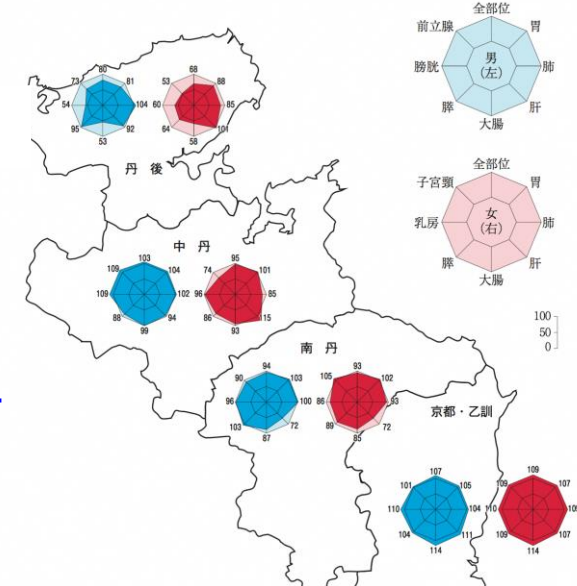
2022年12月3日 (土)
NHK サイエンスZERO

2022年10月19日 (水)
NHK あさイチ

NHKBSプレミアム
「ヒューマニエンス 40億年のたくらみ」
(60分x2) 2021年7月15,22日
腸内細菌～見えない支配者たち～ (前編)
腸内細菌～人を飛躍させる生命体～ (後編)



NHK ヒューマニエンスQ シーズン2
「腸内細菌」見えない支配者たち」
(30分x2) 2023年1月23,30日



年齢調整罹患率の平均値
(2012年京都府がん登録情報)

A cross-sectional study on the relationship between nutrient/food intake and gut microbiota in frailty among older community residents: The Kyotango study

Yuji Naito,^{1,*} Takeshi Yasuda,² Hiroaki Kitae,² Tomohisa Takagi,^{2,3} Katsura Mizushima,¹ Teruhide Koyoma,⁴ Ryo Inoue,⁵ Norihiro Ouchi,^{6,7,8} Atsuo Adachi,^{6,7,8} Tadaaki Kamitani,^{6,7,8} and Satoaki Matoba^{6,7}

¹Human Immunology and Nutrition Science, ²Molecular Gastroenterology and Hepatology, ³Department for Medical Innovation Translational Medical Science, ⁴Epidemiology for Community Health and Medicine, ⁵Department of Cardiovascular Medicine, and ⁷Department of Longevity and Community Epidemiology, Graduate School of Medical Science, Kyoto Prefectural University of Medicine, 465 Kajii-cho, Kamigyo-ku, Kyoto 602-8566, Japan
⁶Laboratory of Animal Science, Department of Applied Biological Sciences, Faculty of Agriculture, Setsunan University, Hirakata, Japan
⁸Kyotango City Yasaka Hospital, Kyotango, Japan

京丹後住民（65歳以上）786人中フレイルと診断される割合は15%

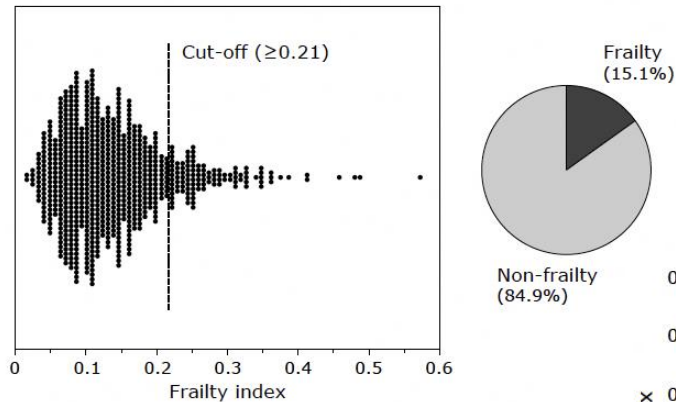
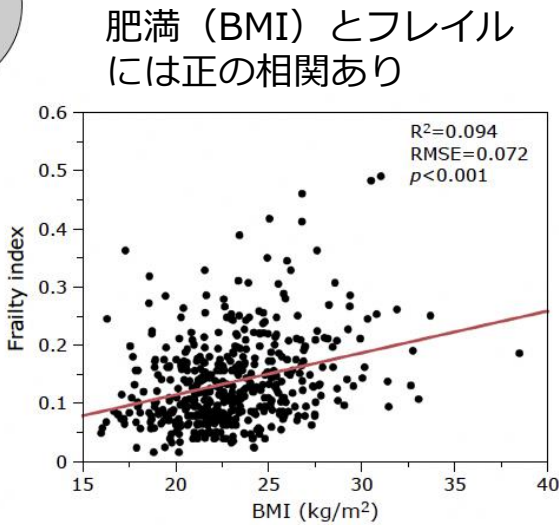
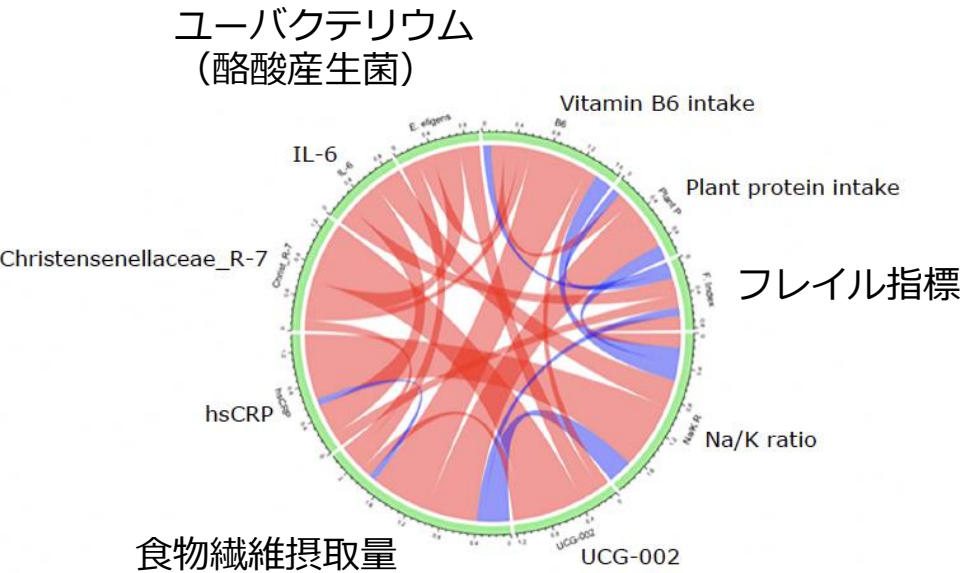


Fig. 1. Frequency of frailty evaluated by frailty index (n = 786).



フレイル指標とユーバクテリウム菌量/食物繊維摂取量には負の相関あり



京丹後

百寿

人生

百寿

京丹後

百寿

人生

百寿

京丹後

百寿

人生

百寿

Recipes for a Hundred Years of Life

Kyotango, a town of longevity

Superfoods for a long life, according to the traditional wisdom

Kyotango City in Kyoto Prefecture has a life expectancy rate per capita of over 80 years old, which is the highest in the world.

We will explore the reasons why Kyotango City is the focus of so much attention from various media outlets.

Eating habits that nurture "longevity type" intestinal flora

Longevity begins with the gut. Recipes to regulate the intestines

Local cuisine from the town of longevity

日本有数の長寿地域

京丹後の食生活 × 腸内細菌研究でわかった

本当に腸が喜ぶ食事術

100歳腸寿食

京丹後市立医科大学大学院 医学研究科 教授 内藤裕二

2週間で腸内環境が変わる食事プログラム

1週目 豆たんぱく 2週目 朝セシイ

腸が元気なら病気が知らず!

京丹後研究から提案する 4 Ps (フォーピース)

Plant-based diet

植物ベースの食事

地元の新鮮な野菜や果物を中心とした植物ベースの食事

Pre- and Probiotic-rich foods

プレ・プロバイオティクス豊富な食品

食物繊維・発酵食品を取り入れ、腸内環境を整える食事



Protein from fish and soy

魚・大豆由来のタンパク質

魚と大豆製品を活用したたんぱく質源

Participation and Place-based eating

みんなで食べる、地域で食べる

地域の人々と共に食事を楽しむこと、地域の食材を活用した食文化を守ること

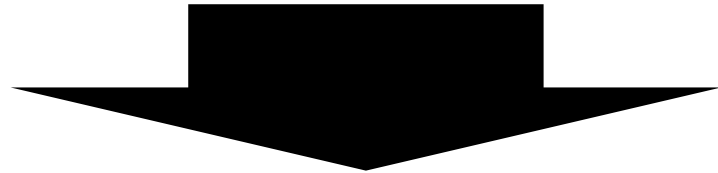
京丹後市の取組と世界長寿サミット開催の経緯

○京丹後市では健康長寿について従前から

- ・「健康大長寿のさとづくりフォーラム」の実施
- ・「百歳バンザイ推進市町村連絡協議会」の設立・運営
- ・「京丹後百寿人生のレシピ」を制作し、これまでに第4版まで内容を充実など取り組みを実施。

○前述のとおり平成29年には、百寿率(人口当たりの100歳以上の人口比率)が全国平均の約3倍である本市の健康長寿の秘訣を明らかにすることを目的に「京丹後長寿コホート研究」を開始。現在も研究を継続中。

○令和5年9月には京都府立医科大学、大阪観光局、京丹後市観光公社、京丹後市の4者で健康長寿を活かした交流人口拡大を目的に連携協定を締結し、健康・美・長寿を活かした誘客、関係人口の拡大に向け日本全体で取り組みを進めている。



2025年の大阪・関西万博並びに日本抗加齢医学会総会に合わせ、
「第1回世界長寿サミット」の開催を決定

2025年6月 第1回世界長寿サミットへの総合的取り組み

- WHO(世界保健機関)の「Decade of Healthy Ageing」(2020)や厚生労働省の「健康寿命延伸プラン」(2019)等の提言にもあり、世界における健康寿命への関心は高まっており、今後重点的に取り組んでいくこととされている。
- 「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとする2025大阪・関西万博に向けて、国内外から集結する「世界長寿サミット」の開催を目指した構想の具体化を今後進めていくこととする。

本研究のコアコンピタンス

- ✓ 百寿率は全国の約3倍
- ✓ 本学と京丹後市立弥栄病院の連携による健康データの蓄積(2017年開始、1,000人程度)
- ✓ 弘前大学をはじめとした全国的な研究機関や企業とのネットワークの構築



- 研究者を中心とした「長寿研究報告会」を毎年度開催
- 多くの研究者や学会等から大きな注目



- 百寿人生レシピを4版にわたり刊行
- 生活に根付く普段の食生活が長寿の原点



- 男性の長寿ギネス記録の木村氏は本市出身
- 健康応援大使がTRFのSAM、DJ・KOO



- 日本JC、商工中金との連携によるwell-beingの取組の推進
- 全国サミットの開催



サミットの骨子案

アカデミア部門

- ✓ 国内外の長寿研究に係る研究者を招聘
- ✓ 本研究及び国内外の長寿に係る研究成果を報告
- ✓ パネルディスカッションの実施

インダストリー部門

- ✓ 国内外の長寿研究に係る企業を招待
- ✓ 国内外の長寿研究のコア技術等の見本市の開催
- ✓ 企業とのマッチング会の実施

ソーシャル部門

- ✓ 国内外から誘客し、長寿食の提供をはじめ、健康長寿に係る取組等の共有
- ✓ 健康応援大使や様々な団体と協働し、健康長寿を楽しみながら実践

※ 上記骨子案については、現時点での構想であり、京丹後市をはじめ、今後関係者との調整が必要

2025年6/16-19 第1回 世界長寿サミット開催



第25回
日本抗加齢
医学学会総会
The 25th Annual Meeting of the Japanese Society of Anti-Aging Medicine

抗加齢医学4半世紀
頑張ろうぜ!

会長特別
企画会場
2025
大阪・関西万博
Osaka Healthcare
Pavilion
Next for Reborn

2025.
会期 6/13(金)・14(土)・15(日) 会場 グランキューブ大阪
(大阪国際会議場)

会長 中神 啓徳 | 大阪大学大学院医学系研究科
健康発達医学専攻助教授 | 主催 一般社団法人日本抗加齢医学会

「World Longevity Summit at Kyotango (世界長寿サミット)」開催のお知らせ
第25回日本抗加齢医学学会総会終了後、「世界長寿サミット」が京丹後市で開催されます。
会期：2025年6月16日(月)・17日(火)・18日(水) 会場：京都府丹後文化会館(京都府京丹後市)
主催：公益財団法人大阪観光局、京都府立医科大学、京丹後市、京丹後市観光公社
6月15日(日) プログラム終了後に京丹後行きの送迎バスを運行いたします。
是非、世界長寿サミットにも続けてご参加ください。 <https://www.kwsc.jp/jaam2025/>

演題募集期間
2024.12.19※
2025.1/31※

■報告事務局 大阪大学大学院医学系研究科 健康発達医学専攻助教授 〒546-0871 大阪府市田山町2-2 大阪大学最寄駅南イノベーションセンター6階 06126
■運営事務局 第25回日本抗加齢医学学会 運営事務局 〒700-0976 岡山県岡山市北区新己20-110 TEL: 086-259-5578 FAX: 086-259-7982 E-mail: jaam2025@kwsc.jp

<https://www.kwsc.jp/jaam2025/>

第25回日本抗加齢医学学会総会 会期 2025/6/13(金)・14(土)・15(日) 会場 グランキューブ大阪
(大阪国際会議場)

第25回日本抗加齢医学学会総会終了後
「World Longevity Summit at Kyotango」開催のお知らせ
(世界長寿サミット)

会期：2025年6月16日(月)・17日(火)・18日(水)・19日(木)
会場：京都府丹後文化会館(京都府京丹後市)

大阪から京丹後まで車で約2時

※最終日プログラム終了後に京丹後行きの送迎バスを運行いたします。
是非、世界長寿サミットにも続けてご参加ください。

日本抗加齢医学学会総会

老化の病的プロセスを予防する抗加齢医学を追求・実践することで生活者のQOLを向上させることや、健康長寿を国民が享受し医療費増加等に寄与することを目的とした学会。その事務局を京都府立医科大学が担っている。

世界長寿サミット

人類が目指す「幸福で健康な長寿社会」の実現を目指して、百寿率が全国平均の約3倍の京丹後市において、京都府立医科大学から世界長寿サミット開催の提案を行い、現在**京都府立医科大学を中心とした長寿サミット実行委員会**で準備中。

第1回 世界長寿サミット概要

1. 日時 2025年6月16日(月)～19日(木)
2. 場所 丹後文化会館他
3. 参加予定人数 約200人(日本人約150人、海外約50人)
4. 内容 本市の持つ長寿の魅力を発信し、世界に向けて認知度を向上させるため実施

プログラム(案)

日にち	プログラム	内容
6月16日	オープニングセレモニー シンポジウム カンファレンス	○アトラクション「長寿よさこい」 ○開会式典 ○海外招聘者による講演 ○研究者や招聘者による学術発表
6月17日	シンポジウム カンファレンス	○研究者や招聘者による講演 ○ヘルスツーリズム学会による講演 ○京丹後コホート研究に関する学術発表
6月18日	シンポジウム 市民公開講座	○研究者による学術発表 ○健康・美・長寿推進協議会による講演、PD等 ○市民向け講演
6月19日	クロージング(AMまで)	○健康長寿宣言 ○閉会式

※その他検討事項

- 別会場での本市美食体験コーナーや企業ブース設置
- 市内飲食店MAPの作成
- サミット開催期間中ヘルスツーリズム体験の実施 等

2025年 6月 第1回世界長寿サミット 海外招待講演



Steeve Horvath Ph.D.
Principle Investigator
of Altos Lab,
Cambridge, U.K.



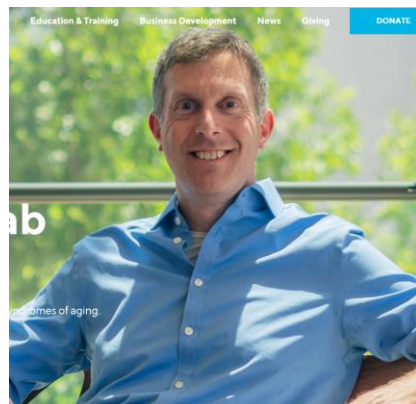
Marco Demaria Ph.D.



Professor of Cellular Aging at the Medical
Faculty of the University of Groningen



Pierre Desprez Ph.D.
Professor in Residence
Campisi labBUCK Institute



John Newman MD, PhD
Assistant Professor
BUCK Institute



Matt Goulding

American food journalist, book author, and
producer based in Barcelona, Spain. Food editor
at Men's Health magazine,

Francis K. L. Chan PhD
Professor of Medicine, Dean,
Faculty of Medicine, The [Chinese
University of Hong Kong](#)



Action Guidelines in the Age of 100-Year Life

人生100年時代における行動指針

Handlungsleitlinien im Alter von 100 Jahren

Pautas de actuación en la edad de 100 años de vida

Actierichtlijnen in de leeftijd van 100-jarig leven

100岁行动准则

100세 인생의 행동 지침

Un guide d'action pour une vie de 100 ans



世界長寿サミット実行委員会

Executive committee member



President



Hitoshi Yaku

Kyoto Prefectural University
of Medicine

Vice President



Yasushi Nakayama

Kyotango City

Executive committee



Masafumi Kizaki

Miyazu City



Hideki Yoshimoto

Ine Town



Touma Yamazoe

Yosano Town

Chair



Yuji Naito



Satoaki Matoba



京都府

第1回世界長寿サミットホームページと“X”のご案内

.. The **1st** WORLD LONGEVITY **SUMMIT** IN KYOTANGO ..

HOME
大会長あいさつ
開催概要
プログラム
参加者の皆様へ
演題募集
参加登録
会場のご案内
企業協賛
関連学会ポスター掲示 チラシ設置
リンク



Follow us!

公式 X はじめました！

@WLS2025

2025.
6/16^{MON}・17^{TUE}・18^{WED}・19^{THU} Executive Committee of
World Longevity Summit

Location: Cultural hall 1030 Sugitani, Mineyama-cho, Kyotango-city, Kyoto, Japan
<https://tangobunkokaikan.jp/>

What's New

- 2024.8.1 公式Xをはじめました。
- 2024.5.31 ホームページを開設しました。



世界長寿サミット



健康・美・長寿推進協議会シンポジウム概要

1. 日 時 2025年6月18日(水) 13:10～14:30(予定)
2. 場 所 丹後文化会館
3. 内 容 オープニング、関係省庁による「健康・美・長寿」に関する講演、パネルディスカッション等

プログラム(案)

時間	内容	配分	備考
～13:00	移動及び受付		
13:10～13:30	オープニング	20分	開会あいさつ(会長) 協議会設立趣旨、活動内容等説明(溝畑理事長)
13:30～13:50	関係省庁による「健康・美・長寿」講演	20分	厚生省健康・生活衛生局総務課 吉田課長様(15分間の講演)
13:50～14:20	12市町村によるパネルディスカッション	30分	テーマ:各自治体での健康・美・長寿に関する取組紹介と それに対するコメント
14:20～14:30	クロージング	10分	全体を通じてコメント 閉会あいさつ(次回開催自治体首長)

※プログラムは案であり変更になる可能性があります。

※首長のリアル参加を呼び掛ける予定ですが、それはかなわない場合はオンラインでの参加も検討しています。